

第14回土木合同セミナーを開催しました！

テーマ「台風第10号災害からの復旧」 ～被災現場の官民一体となった取組～

土木合同セミナー実行委員会事務局盛岡広域振興局土木部
平成30年2月14日（水）、「エスポワールいわて」において、第14回土木合同セミナーを開催しました。行政、建設業、測量設計業など各団体から252名の参加をいただきました。

セミナーでは、発災から1年5か月余りが経過した台風第10号災害からの復旧復興をテーマに、岩泉土木センター管内の取組と課題について報告をいただきました。



平成28年台風第10号豪雨災害からの復旧復興の取組み

沿岸広域振興局土木部岩泉土木センター 鎌田 進 所長

道路及び河川災害復旧事業の概要、小本川及び安家川河川改良復旧事業の整備方針、砂防事業の概要を報告。

全国的にも事例の少ない流木捕捉工の水理模型実験の実施を紹介。

監督職員への支援体制の強化、高い水準で推移している入札取止率、小本川・安家川河川改良復旧事業で発生する掘削残土置場の確保が課題。



災害発生時の初動調査から設計計画まで

株式会社吉田測量設計 吉田 大将 設計部長

岩泉町内における初動調査から設計計画までの災害対応について、工夫と課題を紹介。

従来の初動調査はひとに頼った方法で、災害が激甚化・頻発化し、技術者が高齢となった現在においては対応が困難。現地での情報共有には官民の連携が必要。また、ICT技術など新技術の活用も必要。



安家川改良復旧事業への取組みについて

株式会社昭和土木設計 鈴木 浩行 IT/IT外事業部統括部長

安家川河川改良復旧事業の整備方針を報告。

地域の人々に愛され、大切に守られてきた安家川の改良復旧計画における景観に配慮した川づくり、親水性に配慮した川づくりを紹介。

安家川が地域の誇りであるからこそ、地域社会や個人の生活環境への影響を極力抑えるよう配慮。

画像提供：(株)日刊岩手建設工業新聞社

【主催】土木合同セミナー実行委員会

【構成団体】岩手県盛岡広域振興局土木部、(公財)岩手県土木技術振興協会、(一社)岩手県建設業協会盛岡支部、(一社)岩手県測量設計業協会、(一社)岩手県土木技術センター、(株)日刊岩手建設工業新聞社